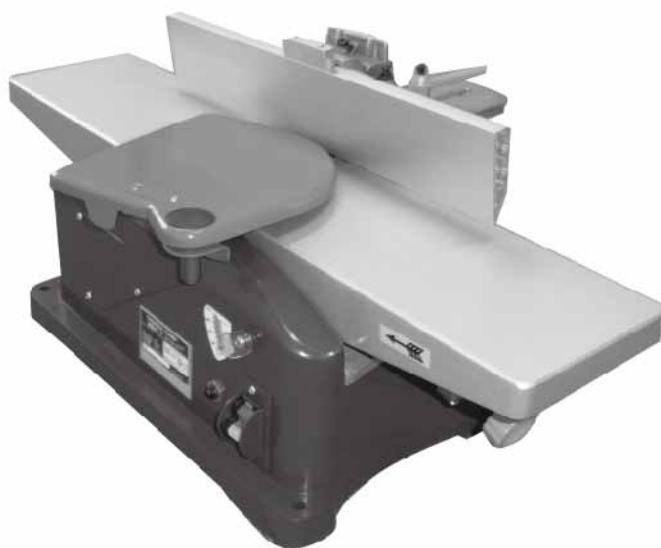


取扱説明書

手押しカンナ NP-156

本機は、DIY商品として開発された製品です。一般家庭用としてご使用下さい。



この度は、弊社製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
ご使用前に必ず取扱説明書をお読みになってからご使用下さい。
尚、この取扱説明書は大切に保管して下さい。

NAKATOMI

【安全上のご注意】

- ◆ご使用になる前に安全上のご注意を良くお読みになり正しくお使いください。
- ◆読み終わったあとは、お使いになる方がいつでも見られる場所に保管してください。

⚠ 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・運送途中の衝撃等により、商品が破損したり、取付部品が外れたり曲がったりする場合がありますので、ご使用前に必ず確認して正規の状態でご使用下さいませようお願い致します。
- ・差し込みプラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れている事を確認し、使用後及び停電の際にはスイッチを切り、差し込みプラグを抜くよう心がけて下さい。
- ・整備点検・部品交換の際は、必ずスイッチが切れていることを確認し、差し込みプラグを電源から外して下さい。
- ・運転中、機械の調子が悪かったり、異常に気付いた時には直ちに使用を中止して下さい。
- ・ご使用前には、本体各部のネジ類がしっかり締め付けられているか確認して下さい。
- ・製品は大事に扱って下さい。誤って落としたりぶついたりした場合には、異常の有無を確認して下さい。
- ・使用中はカンナ刃、及び可動部には絶対に手を触れないで下さい。大変危険です。
- ・電圧は、銘板の表示と一致しているか必ず確認して下さい。100V用のモーターを200Vで使用しますと、モーターが発熱して危険です。低い電圧で使用すると力不足になります。
- ・安全カバーを外して使うことは危険です。絶対に外さないで下さい。
- ・ご使用前には安全カバーが円滑に動くことを確認し、また、安全カバーを固定したままの状態で使用しないで下さい。カンナ刃が露出したままですと危険です。
- ・あまり小さい、あるいは薄く細かな加工素材を取り扱うときは補助ブロックをご使用ください。使わずに作業した場合、不注意によって重大なケガをする場合がありますので、ご注意ください。
- ・加工素材に針などの異物がないか確認して下さい。不注意によって重大なケガをすることがあります。
- ・揮発性可燃物（シンナー、ガソリン等）の近くでは、絶対に使用しないで下さい。危険です。
- ・湿った場所、濡れた場所での使用は避けて下さい。感電事故の原因になりモーター絶縁を低下させます。
- ・作業場所には、作業関係者以外は近付けないで下さい。特にお子様は危険です。
- ・作業中の手袋はお止め下さい。可動部に巻き込まれる恐れがあります。
- ・作業時の服装は身軽なもので行って下さい。手袋、ネクタイ、袖口の開いた服装は可動部に巻き込まれる恐れがあります。
- ・作業中は、安全メガネをかけ、防塵マスクを着用して下さい。
- ・調整用スパナ、レンチ、ドライバー類は使用後すぐに外すようにして下さい。スイッチを入れる前には、それらが外してあるか確認して下さい。
- ・本機はお子様の手の届かない所に保管し、湿気の高い所、雨のかかる所、直射日光の当たる所は避けて下さい。

⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- ・能力を超えた作業は製品の故障や事故のもとです。切れ味の良い刃物を使用し、始動後、正規の回転数になってから開始して下さい。使用しない時は必ず電源を切り回転したまま放置しないで下さい。
- ・コードが切断ライン上から離れた位置にあることを確認して下さい。
- ・作業の能率や安全のために、使用説明に従って、各部がしっかりと取り付けられているか確認して下さい。
- ・安全な作業をするためには、作業場所はきれいに整理をし、十分な採光が必要です。散らかした作業場所は事故のもとです。

●仕様

電 圧	100V 50/60Hz
電 流	12A
消費電力	1030W
無負荷回転数	9000min ⁻¹
最大切削幅/深さ	156/3mm
ブレードサイズ	156×16.5mm×3t
定格時間	30分
本体寸法	幅710×奥行480×高さ310mm
質量	約15.5Kg
電源コード	VCTF1.25×3芯 2m

※改良のため、製品の仕様・外観が変更となる場合がございます。

※()の数値は、付属品装着時の値です。

●付属部品図



安全カバー×1



スライド金具×1



角度調整金具×1



ガイドフェンス×1



ロックレバー×1



ゴム足×4



ワッシャー付ボルト×2



六角レンチ/スパナ×各1

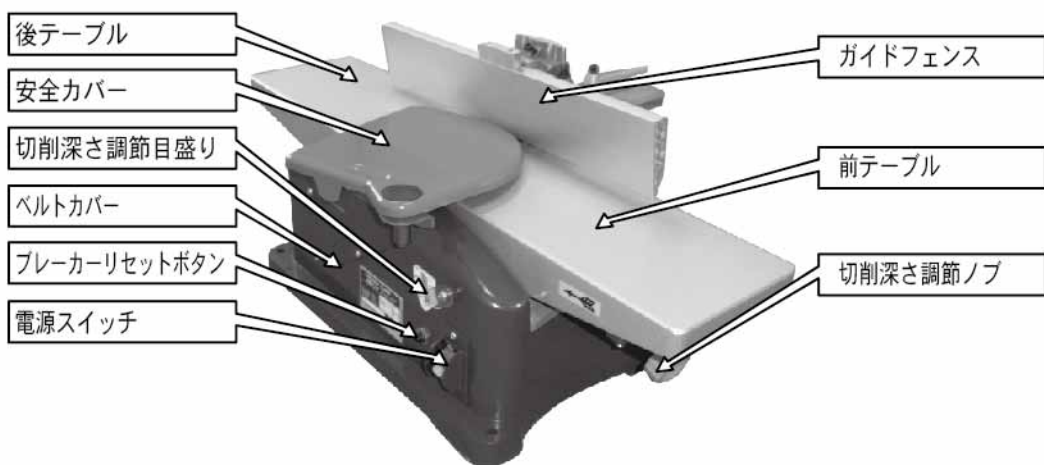


ブレード調整定規×1



補助ブロック×2

●各部名称



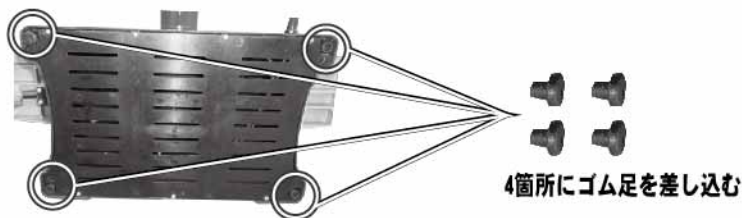
●ご使用前の準備

⚠ 警告

- ・必ず電源プラグは、電源から抜いた状態であることを確認して下さい。
- ・本体や部品にヒビ、割れ等の異常がないことを確認して下さい。
- ・手、指等を傷つけないように十分注意して下さい。

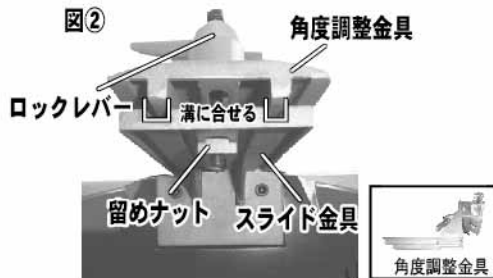
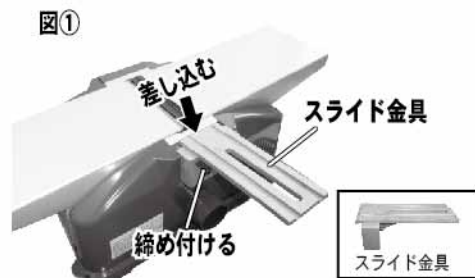
■ゴム足

- ・本体底面の4箇所にゴム足を差し込んでください。

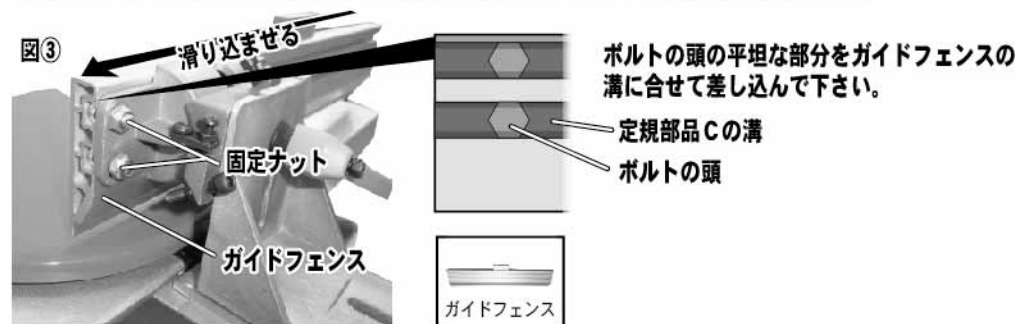


■ガイドフェンスの組み立て

- ①本体側面の溝へスライド金具を差込、六角レンチで2箇所しっかりと締め付けてください。(図①)
- ②スライド金具の溝と角度調整具の凸部をあわせた状態でロックレバーで締め付け固定してください。(図②)
ロックレバーの留めナットは回らないように、スライド金具の溝に合せて差し込んでください。



- ③角度調整金具のボルトの頭にガイドフェンスの溝を合せて滑り込ませます。(図③)
定規の位置が中心まできましたら、角度調整金具の固定ナットを4箇所締め付け固定します。



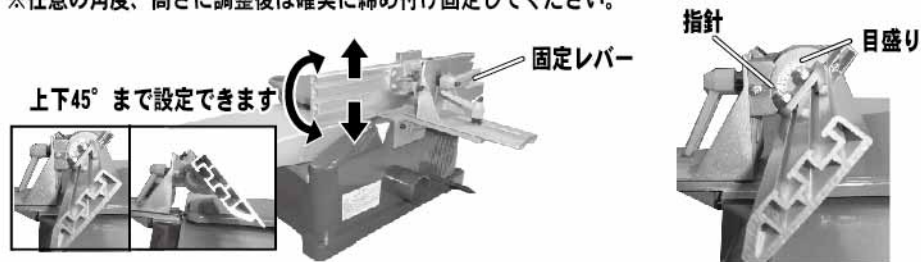
■安全カバーの取り付け

- ・ベルトカバーを固定している六角穴付ボルトを2本外し、付属のワッシャー付ボルト2本で安全カバーを締め付け仮締めします。
 - ・仮締め状態で安全カバーを上へ上げながら、スムーズに動く高さに調節して固定して下さい。
- ※取り付け位置が低すぎるとカンナ刃と接触したり、スムーズに作動しない等、事故の恐れがあります。



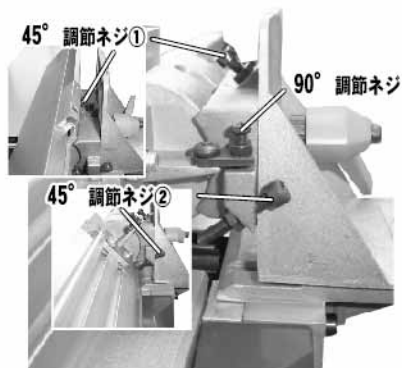
■ガイドフェンスの高さ、角度の変更

- ・下図の固定レバーをゆるめる事で、定規の高さ、角度を変更できます。
 - ・後テーブル側に角度の目盛りがついていますのでそれを目安に角度調整してください。
- ※任意の角度、高さに調整後は確実に締め付け固定してください。



■ガイドフェンスの調整

- ・正確な90°、45°を必要とする場合にはスコヤなどを使い計測して調整して下さい。



各調整ネジはスコヤなどで計測した角度の位置に合わせてネジの高さを調節し、ナットを締めて固定してください。

●使用方法

■運転スイッチ



- ・スイッチは上に上げるとONに入り、下げるとOFFになります。安全のためキースイッチになっております。
- ※使用しない時はキーを抜き取ってください。使用する際は、キーを差し込んでONにしてください。
- キーを差し込まないとスイッチはONになりません。
- 保管する際、なくさないようにしてください。

※ご使用の際は、モーターの回転数が最高まで上がり、安定してからご使用ください。

■ブレーカーリセットボタン

- ・本機には、能力を超えた作業によるモーターの焼損を防ぐためにブレーカーが内蔵されています。
- ・ブレーカーが作動したら、即座にスイッチをOFFしてください。1分間以上の停止を行い、その後ブレーカーリセットボタンを押した後、スイッチをONにしてください。

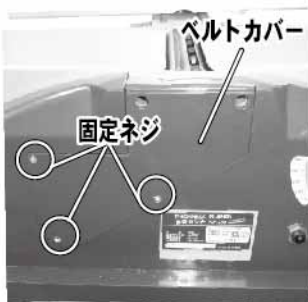


■ブレードの交換

⚠ 警告

- ・必ず電源プラグは、電源から抜いた状態であることを確認して下さい。
- ・本体や部品にヒビ、割れ等の異常がないことを確認して下さい。
- ・手、指等を傷つけないように十分注意して下さい。

- ・安全カバーを外し、ベルトカバーを固定している3本のネジをゆるめ、ベルトカバーを外します。
 - ・ベルトカバーを外したら、ベルトをゆっくりと手で回しブレードが上に向くようにします。
 - ・ブレード板の固定ボルト5本を時計方向に回し、ブレード板のロックを解除します。
- ※ブレード固定ボルトは締めこんでいくとゆるみます。



- ・ブレード板、ブレードを回転軸から取り出し、ブレード板からブレードを取り外します。
- ・新しいブレードを取り付けの際はブレード板の凸部とブレードの溝を合せて取り付けてください。



凸部と溝を合せて取り付ける

- ・ブレード板、ブレードを取り付け後、回転軸にはめ込みます。
- ・ブレードの高さは後テーブルと同じ高さになるように取り付けます。
- ・ブレード調整定規を下図のようにブレードの中心あたりに置き、上から押さえながら、ブレード固定ボルトの両端を締め付け位置を固定します。

※ブレードの位置固定後は必ず、5本のボルトをしっかりと締め付け、固定してください。

上から押さえる



ブレード調整定規

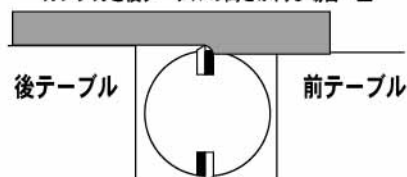


左図の白線部分にブレードが当たるように調整してください。
白線部分の高さが後テーブルと同じ高さになります。

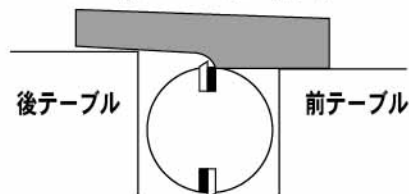
- ・同手順でもう方側の刃も交換して下さい。

※カンナ刃の高さと後テーブルの高さがずれていると加工素材を平坦に切削が出来なくなります。

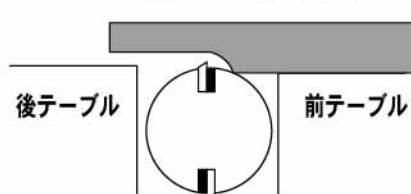
カンナ刃と後テーブルの高さが同じ場合：正



カンナ刃が後テーブルより低い場合：誤



カンナ刃が後テーブルより高い場合：誤



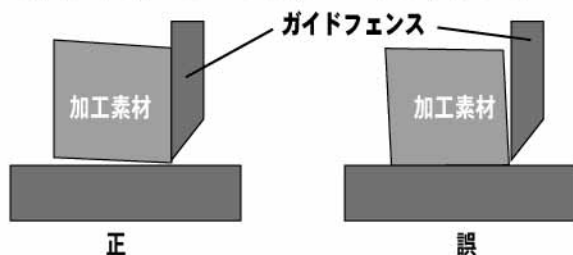
■集塵口



- ・本体裏側に吸塵口がついていますので、集塵機などを取り付ける事で切子の飛散を減少し、効率よく作業する事ができます。
- ・集塵口のサイズは外径56mm、内径49mmとなりますので、内側、外側どちらでもサイズの合う物を差し、テープなどで固定してください。

■切削方法

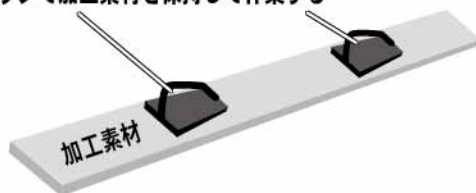
- ・直角を出す場合には、加工素材の基準面を定規に沿わせた状態で作業してください。
- ・基準面がガイドフェンスから離れていると、直角ができません。



■補助ブロック

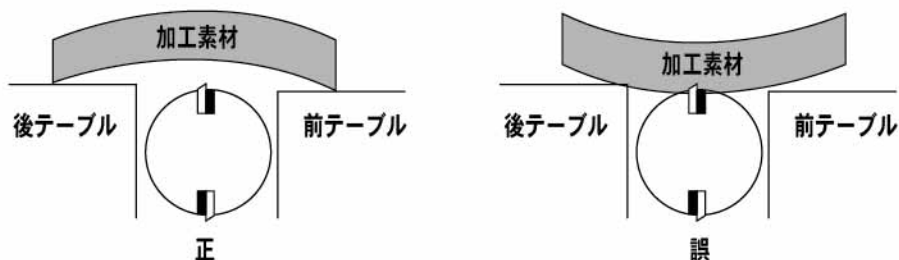
- ・薄い板や小さめなものを加工する場合には、補助ブロックを使用してください。

補助ブロックで加工素材を保持して作業する



■反った加工素材

- ・反った加工素材を切削する場合には凹んだ側を下側に向けて作業して下さい。



●保守と点検

- ・ご使用後は各部のホコリ、切削クズを取り除き、本体を清掃して下さい。
 - ・各部に付いたホコリやクズは、ブラシで取り除くか木片でこすり落としてください。ナイフや溶解力のある薬品洗剤等は、使わないでください。
 - ・コードや本体は、オイルやグリースによる老朽化を防ぐために乾いた布で拭いてください。
- ※必ずスイッチをOFFにしてプラグを電源から抜いて行ってください。

●トラブルの原因と対策

故障の種類	原因	対策
モーターが動かない	<ul style="list-style-type: none">・電源からの入力無し・モーターの結線不具合・スイッチの故障・モーターの焼損・リセットが働いている・カーボンブラシの摩耗	<ul style="list-style-type: none">・プラグ・電源コードの点検・モーターの結線修理・スイッチの交換・モーターの交換・モーターを冷やし、リセットスイッチを押す・お客様相談窓口へお問い合わせ下さい。
回転数が上がらない	<ul style="list-style-type: none">・電圧が低い・延長コードが長すぎる	<ul style="list-style-type: none">・正しい電圧で使用・延長コードの変更または延長コードの使用を止める。・電源の近い場所へ移動する

●商品についてのお問い合わせは「お客様相談窓口」までご連絡ください。

株式会社 ナカトミ

お客様相談窓口 TEL. 026-245-3105 FAX. 026-248-7101

受付時間10:00~12:00 13:00~17:00(土・日・祝日を除く)